



<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

 日本空港ビルディング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(東京国際空港内)  
TEL:03-5757-8000  
<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>



Japan Airport Terminal Co., Ltd.



# 第64期 中間事業報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>



Japan Airport Terminal Co., Ltd.

# 日本空港ビルディング株式会社

昭和28(1953)年、当社は東京国際空港(羽田)の旅客ターミナルビルの建設・管理運営を目的として設立されました。

現在、当社グループは、施設管理運営のほか、免税店などの物品販売業、空港内レストランや機内食製造・販売などの飲食業を展開しております。

CS理念「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」の下、すべてのお客様にご満足いただけるよう、サービスの向上に取り組んでいます。

## 基本理念

- 公共性と企業性の調和

## 経営方針

- 旅客ターミナルビルにおける絶対安全の確立
- お客様本位(利便性・快適性・機能性)の旅客ターミナルビル運営
- 安定的かつ効率的な旅客ターミナルビル運営
- 企業体質の強化及びグループ企業の総合力向上

## 日本空港ビルディング(株)

### グループ会社 施設管理運営業

#### 保守管理

- (株)エアポートマックス  
清掃、園芸管理業務 ほか
- 日本空港テクノ(株)  
空港ターミナル施設等の設備保守管理
- 羽田エアポートセキュリティ(株)  
警備業務運営
- (株)櫻商会  
エアポートクリーンセンター、廃棄物処理

#### サービス

- (株)ビッグウイング  
広告・イベントの企画運営 ほか
- 羽田旅客サービス(株)  
旅客サービス業務運営
- (株)ヒロインターナショナル  
羽田空港における有料待合室・会議場の運営 ほか

### 物品販売業

- 国際協商(株)  
全国各空港売店等への一般品・免税品の卸売業及び物品販売
- (株)日本空港ロジテム  
ロジスティクス(商品の運送・検品等)
- (株)羽田エアポートエンタープライズ  
羽田空港における店舗運営業務
- (株)成田エアポートエンタープライズ  
成田国際空港における店舗運営業務
- (株)浜真  
海産物等の卸売業及び小売業
- (株)アイティエス  
ゲーム機・遊戯機等の娯楽機械の設置営業

### 飲食業

- 東京エアポートレストラン(株)  
羽田空港及び成田国際空港における飲食業及び軽食の製造販売
- コスモ企業(株)  
成田国際空港内におけるアメリカン航空、プリティッシュ・エアウェイズ、シンガポール航空、キャセイ航空、チャイナ エアライン、ヴァージンアトランティック航空等の外国航空会社への機内食ケータリング、冷凍食品の製造 ほか
- (株)シー・ティ・ティ  
航空機内用品及び食器類の洗浄 ほか
- 会館開発(株)  
飲食施設の運営、宿泊・ホール・会議室の管理運営 ほか

※ 平成19年4月、警備業務運営の専門子会社として羽田エアポートセキュリティ(株)(資本金50百万円 出資比率100.0%)、及び旅客サービス業務運営の専門子会社として羽田旅客サービス(株)(資本金50百万円 出資比率100.0%)を設立しました。両社は平成19年7月に業務受託を開始しております。

## Contents

株主の皆さまへ	01	連結財務諸表	12
社長インタビュー	02	連結財務ハイライト	14
特集	04	単体財務諸表	15
トピックス	08	株式情報	16
事業別概況	10	会社概要	17

## To Our Shareholders

# 株主の皆さまへ

## 羽田空港再拡張など環境変化を的確に捉え、経営基盤をさらに強化し、顧客第一主義を一層推進します。



代表取締役社長

# 鷹城 勲

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社第64期中間決算(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)のご報告をするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社が事業を展開しております航空業界は、燃油価格が引き続き高水準で推移するなど、総じて厳しい事業環境が続きましたが、国内線及び国際線旅客数はほぼ前年並みに推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、旅客ターミナルビルにおける安全対策強化に全力を傾注するとともに、顧客第一主義の徹底を図り、全社を挙げて一層のサービス向上に努めてまいりました。また、旅客ターミナルビル運営の効率化に取り組み、業務の活性化と経営の合理化・効率化を図り、社業発展と経営基盤の強化に努めてまいりました。

特に、羽田空港におきましては、さらなる利便性、快適性及び機能性の向上を目指し、第1及び第2旅客ターミナルビルについては、物販店舗等の改修工事を実施するとともに、第1旅客ターミナルビルに保育園を開設し、旅客等の要望に積極対応いたしました。また、本年9月29日からの羽田-上海(虹橋)間国際旅客チャーター便就航等に伴う旅客数の増加に対応するため、国際線旅客ターミナルビルの拡張・改修工事を実施いたしました。このほか、P4簡易立体駐車場の建設に着手し、本年12月の供用開始を予定しております。

さらに、警備業務及び旅客サービス業務をより一層専門的かつ効率的に運営するため、本年4月に子会社を2社設立し、7月より当該業務の運営を委託しております。

今後とも、公共性の高い羽田空港旅客ターミナルビルの管理運営を担う純民間企業としての社会的役割を深く認識し、全社を挙げて厳しい経営環境に耐え得る企業体力の形成と経営基盤の強化を図るとともに、公共性と企業性の調和のとれた経営を目指すことにより、一層の社業の充実発展に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月  
代表取締役社長 鷹城 勲

# 社長インタビュー

## 旅客ターミナルビルの増築・改修工事、店舗等の新設・改修工事で 業務の活性化と経営の合理化・効率化を図り、2010年10月の 羽田空港再拡張に向けて、一層の社業発展に努めてまいります。



代表取締役社長  
たかしろ いはる  
鷹城 勲

**略歴**  
昭和43年4月 当社入社  
平成11年6月 当社専務取締役  
平成13年6月 当社専務取締役  
平成15年4月 当社代表取締役副社長  
平成17年4月 当社代表取締役社長(現任)

### Q1 当中間期の連結業績について聞かせてください。

**A1** 当中間連結会計期間の連結業績につきましては、営業収益は696億9千5百万円(前年同期比5.2%増)となりました。営業利益は44億5千4百万円(前年同期比15.2%増)、経常利益は44億3百万円(前年同期比13.8%増)、中間純利益は21億8千5百万円(前年同期比21.7%増)となりました。本年2月の羽田空港第2旅客ターミナルビル5スポット供用開始に伴う施設利用料収入等の増加や成田国際空港における他社免税店への卸売上の増加、そして適切なコストの管理により、増収増益を達成することができました。

### Q2 今後の経営戦略について聞かせてください。

**A2** 当社グループは、本年5月に、2007年度から2009年度までの3年間を対象とした中期経営計画を策定し、この計画期間において、国家的プロジェクトである2010年度に向けた羽田空港再拡張事業の推進による首都圏の航空輸送拡大・発展に備えて、万全の体制を整えてまいります。

- 本中期経営計画期間中の経営戦略の基本方針は、  
①羽田空港第2旅客ターミナルビルIII次計画の推進、  
②2010年度の羽田空港の再拡張・国際化への対応、  
③グループ経営基盤の強化  
です。

当社グループの営業の基幹となる羽田空港におきましては、新たに4本目の滑走路を整備する「東京国際空港再拡張事業」及びその新滑走路の供用開始に合わせてPFI手法により国際線ターミナル、エプロン等を整備する「東京国際空港国際線地区整備等事業」がそれぞれ国により進められております。

上記の「東京国際空港国際線地区整備等事業」のうち、「国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業」について、昨年6月当社をはじめとする構成企業の共同出資により、特別目的会社「東京国際空港ターミナル株式会社」を設立いたしました。現在、同社においては、「実施設計」が終了し、施工業者の選定を行っている段階でございます。当社は今後、2010年10月に予定される国際線旅客ターミナルビル等供用開始に向けて同社の業務を適切に支援してまいります。

また、「東京国際空港再拡張事業」に伴う国内線発着枠の増大に伴い予想される航空旅客数の増加に的確に対応し、航空ネッ

トワークの中心としての拠点空港機能を確保するため、さらなる利便性、快適性及び機能性の向上を目的とする羽田空港第1及び第2旅客ターミナルビルの改修工事等について推進してまいります。

さらに、本中期経営計画期間中に着工を予定している、羽田空港第2旅客ターミナルビルIII次計画及びP4本格立体駐車場計画に積極的に取り組んでまいります。

航空・空港安全対策については、不安定な国際情勢等を考慮し、旅客ターミナルビル等当社グループが管理運営する区域における巡回警備及び保安・制限区域への職員通用口における出入場管理等の安全対策強化に引き続き努めてまいります。また、第1旅客ターミナルビル商業エリア「マーケットプレイス」等における物販店舗の改修等による販売・サービス力強化にも努めてまいります。

成田国際空港におきましては、昨年6月の同空港第1旅客ターミナルビル南ウイング供用開始及び本年4月の同空港第2旅客ターミナルビル本館免税ブランドモール新設による同業他社との競争激化や航空会社の再配置に伴う航空旅客分散による影響等に対応するため、他社免税店について卸売上の強化並びに店舗運営業務の受託を進め、売上構造の変化に的確に対応するとともに、既存店舗の売上増進及び店舗運営業務の効率化等に努めてまいります。

関西国際空港株式会社から受託しております免税店運営

業務や中部国際空港株式会社への商品卸売業務等につきましても一層の効率化を図るとともに、事業基盤の拡充に努めてまいります。

飲食業では、羽田空港において、フランチャイズにより誘致設置した有名飲食店舗の売上増進を図るとともに、成田国際空港において、航空会社の増便対応や新規顧客の獲得等により機内食販売の拡大を図ってまいります。

### Q3 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

**A3** 当社は公共性の高い事業を展開しておりますが、民間企業として株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けており、安定的な配当を実施していきたいと考えております。また、前期より株主優待制度を新設しております。今後とも、株主の皆さまのご期待に応えられるよう、全社一丸となって業績の向上に努めてまいります。その一方で、羽田空港旅客ターミナルビル増築工事等に対する大規模投資を考慮して内部留保の充実を図りたいと考えております。

当期の中間配当につきましては、このような考え方にに基づき、1株につき5円とさせていただきますが、今後の配当方針につきましては、中期経営計画の進捗よくを確認しつつ、柔軟に検討してまいります。

### 中期経営計画（収支計画等）

収支計画（単位：億円）	2006年度 実績	2007年度		2008年度 ※(目標)	2009年度 ※(目標)
		※(目標)	※(業績予想)		
営業収益	1,325	1,368	1,395	1,400	1,375
施設管理運営業	366	373	380	379	381
物品販売業	803	838	859	860	830
飲食業	155	157	156	161	164
営業利益	70	76	79	88	102
経常利益	67	72	77	86	100

※目標…2007年5月発表 業績予想…2007年11月発表

### 目標とする経営指標（2009年度）

ROE(自己資本当期純利益率)…………… 4%  
ROA(総資産経常利益率)…………… 5%

# 特集

## 進化する羽田空港

国家的プロジェクトである2010年度に向けた  
羽田空港再拡張事業の推進による  
首都圏の航空輸送拡大・発展に備えて、  
万全の体制を整えてまいります。

### 第2旅客ターミナルビルⅢ次計画

・本館部分 2008年度着手予定

### 第2旅客ターミナルビルⅣ次計画

・3スポット、本館部分  
(現国際線旅客ターミナルビル撤去後)

### 国際線旅客ターミナルビル 増改修工事(チャーター便対応)

・投資額 21億円  
2007年11月完成

### P4駐車場立体化

・簡易立体駐車場(800台)  
投資額 20億円  
2007年12月完成・供用(予定)

### P4駐車場立体化

・本格立体駐車場 2008年度着手予定

第2旅客ターミナルビル

P3

P4

P2

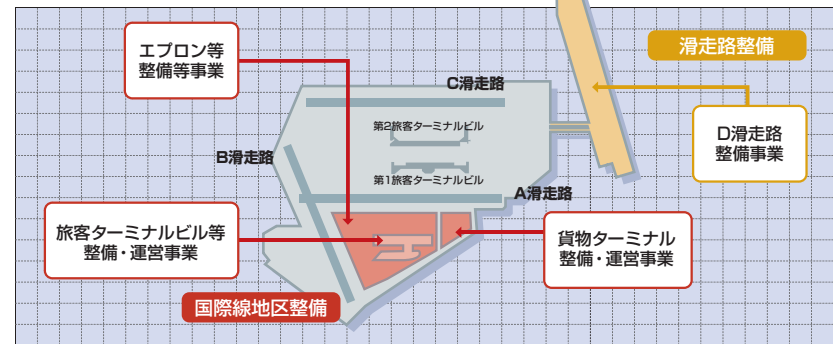
P1

第1旅客ターミナルビル

## 羽田空港再拡張事業の要旨

国により進められておりますこの再拡張事業では、「D滑走路整備事業」と、旅客ターミナルビル等整備・運営事業、貨物ターミナル整備・運営事業、エプロン等整備等事業に関わる「国際線地区整備等事業」を大きな柱としています。

### 再拡張事業の概要



### 羽田空港再拡張事業

#### D滑走路整備事業

国際線地区整備等事業	旅客ターミナルビル等整備・運営事業
	貨物ターミナル整備・運営事業
	エプロン等整備等事業

※国土交通省資料を基に当社作成

### 再拡張事業の目的

#### 発着能力の増強(1.4倍)

29.6万回/年 → 40.7万回/年

- ➔ 発着容量制約の解消
- ➔ 利用者の利便性の向上
- ➔ 将来の国内航空需要対応と国際線定期便の受け入れを目指す

### 当中間期の主な取り組み

#### Case 1 羽田-上海(虹橋)間 国際旅客チャーター便就航

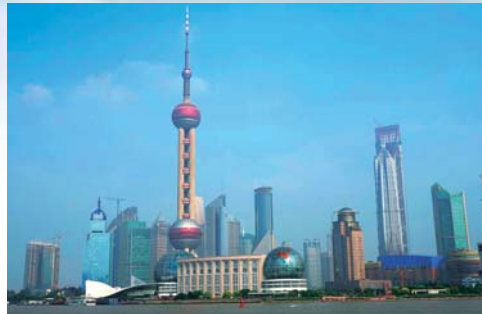
羽田-上海(虹橋)間国際旅客チャーター便就航に伴い、国際線旅客ターミナルビルの拡張・改修工事を実施。

#### Case 2 P4簡易立体駐車場新築工事着工

旅客の利便性向上及び空港内駐車場の混雑緩和を図るため、P4簡易立体駐車場新築工事を着工。

# 特集 進化する羽田空港

## Case 1 羽田—上海（虹橋）間国際旅客チャーター便就航



目覚ましいスピードで変化し続ける都市「上海」



「ジャパンデューティーフリー羽田店」ウォッチブティックとバッグコーナー

### 1日4便就航、上海へは羽田空港からが便利

本年9月29日から、羽田空港と中国上海の虹橋空港を結ぶ国際旅客チャーター便が1日4便運航開始となりました。当社は、これに伴う旅客数の増加に対応するため、国際線旅客ターミナルビルにおいて、出発・到着ロビーの拡張、チェックインカウンターの増設等の工事を実施いたしました。

また、免税店のリニューアル工事も実施し、「ジャパン デューティーフリー羽田店」に「オメガ」「エルメス」「グッチ」「セイコー」などの高級ブランド時計や、「トウミ」「ダンヒル」のバッグを取り扱う新コーナーがオープンいたしました。さらに、中国人旅客の方に人気のたばこ、酒類、食品、化粧品なども導入したほか、新たにドラッグストアもオープンいたしました。

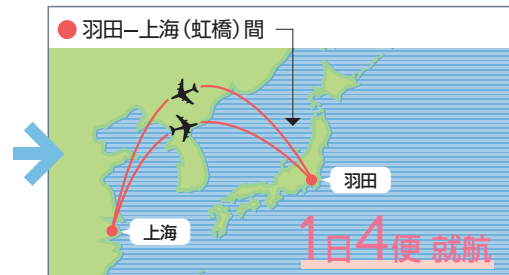
今後もお客様のニーズにきめ細かく対応し、利便性・快適性・機能性のさらなる向上を図ってまいります。

### 羽田—金浦・虹橋便運航スケジュール

2007(平成19)年11月現在

	羽田発	現地到着時刻	便名	行き先
JAL	8:20発	10:45着	JL8831	金浦
JAL	9:10発	11:35着	JL8877	虹橋
ANA	9:20発	11:45着	NH1291	金浦
ANA	10:00発	12:25着	NH1281	虹橋
AAR	12:15発	14:35着	OZ1015	金浦
KAL	13:05発	15:25着	KE6708	金浦
CES(中国東方)	13:40発	15:50着	MU538	虹橋
CSH(上海航空)	14:20発	16:35着	FM816	虹橋
JAL	15:25発	17:50着	JL8833	金浦
ANA	16:25発	18:50着	NH1293	金浦
AAR	19:35発	21:50着	OZ1035	金浦
KAL	20:05発	22:25着	KE6710	金浦

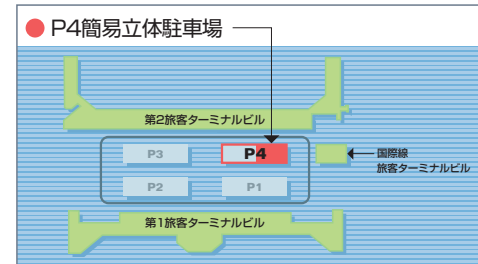
発着時間は予告なしに変更する場合がございます。各航空会社にてご確認ください。



## Case 2 P4簡易立体駐車場新築工事着工



P4簡易立体駐車場完成イメージ図



### 本年12月完成・供用開始予定

羽田空港利用者の利便性向上及び空港内駐車場の混雑緩和を図るため、本年5月に、第2旅客ターミナルビル前、P4平面駐車場の南側部分に簡易立体駐車場を建設する「東京国際空港(羽田)P4簡易立体駐車場新築その他工事」を着工いたしました。このP4簡易立体駐車場は約800台の駐車が可能であり、これまでのP4平面駐車場(駐車可能台数433台)と合わせると、駐車可能台数は約1,200台に増加いたします。現在、本年12月の完成・供用開始に向けて、鋭意工事を推進しております。

### P4簡易立体駐車場工事概要



工事概要		
東京国際空港(羽田)P4簡易立体駐車場新築その他工事		
建物概要		
簡易立体駐車場 延床面積	収容台数	構造
約19,900m <sup>2</sup>	約800台	鉄骨造 地上5F

## トピックス

## 利便性・快適性・機能性のさらなる向上を目指して

2007年  
4月1日第1旅客ターミナルビルに  
「羽田空港アンジュ保育園」がオープン

New Open!



東京都認証保育所「羽田空港アンジュ保育園」が、本年4月1日、第1旅客ターミナルビル北ウイング3階にオープンいたしました。開園から半年以上が経ちましたが園児数も徐々に増え、ご利用される皆さまから大変ご好評を頂いております。10月には、開園して初めてのミニ運動会を保育園内で行いました。園内が子供たちの笑顔や笑い声で満ち溢れ、当社の公共的使命をあらためて強く認識する1日となりました。アンジュ保育園では、月極保育と一時保育(要予約)の両方を行っており、空港従業員及び航空旅客双方のニーズに応えられる体制となっております。

- 名称  
羽田空港アンジュ保育園  
(東京都認証保育所)
- 場所  
第1旅客ターミナル北ウイング3階
- 営業時間  
基本保育時間 8:00~21:00  
延長保育時間 7:00~8:00  
21:00~23:00  
(年中無休)
- 対象年齢  
0歳児(生後57日)~未就学児
- お問い合わせ  
03-5756-7311

2007年  
7月24日第2旅客ターミナルビルに  
「ねんりん家」がオープン

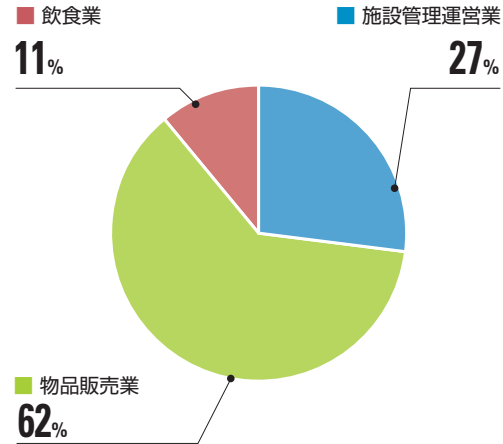
今、話題の「ねんりん家」が本年7月24日、第2旅客ターミナルビル出発ゲート内にオープンいたしました。「ねんりん家」は、和の感性と味覚・匠の技術に基づいた日本生まれのバームクーヘン専門店として、都内百貨店などでも大変注目を集めています。同店では、バームクーヘンの新しい楽しみ方を提案するバームクーヘン・カフェ「CAFÉねんりん家」も併設しております。東京のお土産として、また併設のカフェでのご軽食として、バームクーヘンの源流であるヨーロップでも作ることのできない同店ならではのバームクーヘンをぜひお試しください。

2007年  
7月13日第1旅客ターミナルビルに  
「Air LAWSON」がオープン

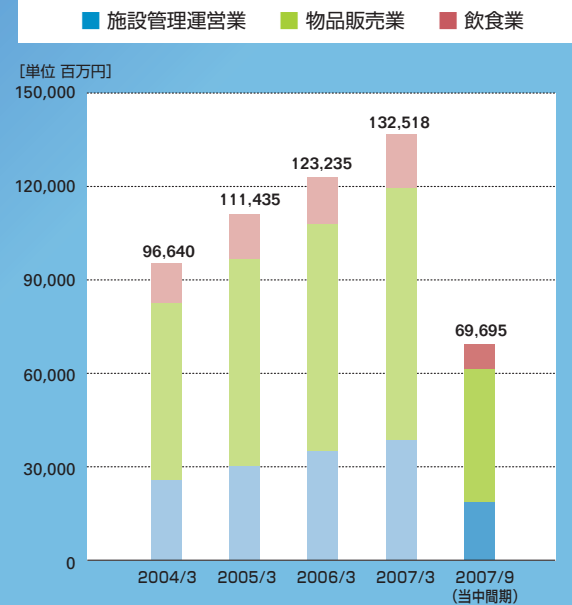
コンビニエンスストア「Air LAWSON」(正式店舗名:ローソン 羽田空港第1ターミナルノース店)が本年7月13日、第1旅客ターミナルビルの北ウイング地下1階にオープンいたしました。同店の特徴はその品ぞろえにあります。空港という立地から、通常のコンビニエンスストアの品ぞろえやサービスに加え、東京のお土産やその他いろいろなギフト商品も取りそろえております。また、マイルがたまるJMBローソンパスもご利用可能です。スタイリッシュなデザインのお店でお買い物をお楽しみください。

# 事業別概況

営業収益比率



営業収益の推移



## 施設管理運営業

家賃収入は、航空会社の入居スペースの増加等により堅調に推移いたしました。また、施設利用料収入は、本年2月の羽田空港第2旅客ターミナルビル5スポットの増築工事完成及び供用に伴い、順調に推移いたしました。その他の収入は、広告料収入の増加等により、堅調に推移いたしました。

その結果、施設管理運営業の営業収益は199億4千5百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は11億1千2百万円(前年同期比25.7%増)となりました。



## 物品販売業

羽田空港国内線売店につきましては、新商品や季節感のある商品の積極的な催事販売等による販売促進を図るとともに、店舗運営形態の見直しを行ったことなどにより、売上はほぼ前年並みとなりました。

国際線売店につきましては、訪日外国人旅客への販売促進、インターネットを活用した免税品事前予約受付サービスの強化等積極的な営業展開を図ることにより、売上増加に努めました。羽田空港免税店の売上は、国際線旅客数の増加や免税店の改装・拡張により好調に推移いたしました。成田国際空港においては、昨年6月の同空港第1旅客ターミナルビル南ウイング供用開始及び本年4月の同空港第2旅客ターミナルビル本館免税ブランドモール新設による同業他社との競争激化、航空会社の再配置に伴う航空旅客分散による影響等により、免税店の売上は減少いたしました。

一方、成田国際空港における第2旅客ターミナルビル本館免税ブランドモールに新設された他社免税店への卸売の開始や他社免税店の運営業務受託等の営業努力により、その他の売上は大幅に増加し、免税店の売上の減少を補いました。

その結果、物品販売業の営業収益は433億6百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は45億6千9百万円(前年同期比11.3%増)となりました。



## 飲食業

飲食店舗につきましては、弁当の卸売や販売、フランチャイズ契約店舗の展開等が寄与したことなどにより、売上は前年を上回りました。機内食につきましては、顧客航空会社のコスト削減や運航休止に伴う機内食提供数の減少等により、売上は前年を若干下回りました。

その結果、飲食業の営業収益は89億9百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は3億1千9百万円(前年同期比1.4%増)となりました。



# 連結財務諸表

## ■ 中間連結貸借対照表(要旨)

	当中間期 平成19年9月30日現在	前期 平成19年3月31日現在	増 減
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	30,510	35,110	△ 4,599
現金及び預金	13,999	19,128	△ 5,128
売掛金	7,592	7,633	△ 40
有価証券	2,194	2,096	97
たな卸資産	3,573	3,682	△ 108
繰延税金資産	1,161	1,130	30
その他	1,995	1,445	549
貸倒引当金	△ 7	△ 7	△ 0
固定資産	160,692	162,049	△ 1,357
<b>有形固定資産</b>	<b>138,064</b>	<b>140,074</b>	<b>△ 2,010</b>
建物及び構築物	119,601	123,100	△ 3,499
機械装置及び運搬具	2,165	2,226	△ 61
土地	7,450	7,448	1
建設仮勘定	2,636	884	1,751
その他	6,210	6,414	△ 204
無形固定資産	662	681	△ 18
投資その他の資産	21,965	21,293	672
投資有価証券	13,609	13,155	454
繰延税金資産	6,317	6,047	270
その他	2,038	2,090	△ 52
資産合計	191,202	197,160	△ 5,957

**有形固定資産**／建設仮勘定は、P4簡易立体駐車場の建設着工等により、17億円増加しましたが、減価償却費の逓減等により建物及び構築物は34億円の減少となりました。これらの結果、当中間期末の有形固定資産は、前期末比20億円減の1,380億円となりました。

(単位 百万円)

	当中間期 平成19年9月30日現在	前期 平成19年3月31日現在	増 減
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	28,170	30,083	△ 1,913
買掛金	4,939	5,209	△ 269
短期借入金	9,527	9,598	△ 70
未払法人税等	2,277	2,859	△ 582
賞与引当金	1,007	808	198
役員賞与引当金	94	192	△ 98
その他	10,322	11,413	△ 1,090
固定負債	42,415	47,693	△ 5,278
長期借入金	27,677	32,406	△ 4,729
退職給付引当金	8,409	8,652	△ 242
役員退職慰労引当金	1,083	1,388	△ 305
その他	5,244	5,246	△ 1
<b>負債合計</b>	<b>70,585</b>	<b>77,777</b>	<b>△ 7,191</b>
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	115,291	113,609	1,682
資本金	17,489	17,489	-
資本剰余金	21,309	21,309	0
利益剰余金	76,570	74,887	1,683
自己株式	△ 78	△ 77	△ 1
評価・換算差額等	2,216	2,575	△ 358
その他有価証券評価差額金	2,238	2,609	△ 370
繰延ヘッジ損益	△ 22	△ 34	12
少数株主持分	3,109	3,198	△ 88
純資産合計	120,617	119,382	1,234
負債純資産合計	191,202	197,160	△ 5,957

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**負債合計**／羽田空港第1旅客ターミナルビルの改修、第2旅客ターミナルビル増築工事の資金としての長期借入金を約定返済したこと等により、当中間期末の負債合計は、前期末比71億円減の705億円となりました。

(単位 百万円)

## ■ 中間連結損益計算書(要旨)

	当中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	前中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	増 減
営業収益	69,695	66,246	3,448
売上原価	35,212	32,863	2,348
営業総利益	34,482	33,382	1,099
販売費及び一般管理費	30,028	29,517	511
<b>営業利益</b>	<b>4,454</b>	<b>3,865</b>	<b>588</b>
営業外収益	724	621	103
営業外費用	776	619	156
経常利益	4,403	3,867	535
特別利益	109	-	109
特別損失	8	298	△ 289
税金等調整前中間純利益	4,503	3,569	934
法人税、住民税及び事業税	2,137	2,203	△ 66
法人税等調整額	231	△ 472	703
少数株主利益	-	41	△ 41
少数株主損失	50	-	50
中間純利益	2,185	1,796	389

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位 百万円)

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	当中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	前中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	増 減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,336	10,770	△ 3,434
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,538	△ 10,207	3,668
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,340	2,821	△ 8,161
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	△ 0
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 4,542	3,384	△ 7,927
VI 現金及び現金同等物の期首残高	18,796	13,238	5,557
VII 新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	100	-	100
VIII 現金及び現金同等物の中間期末残高	14,353	16,623	△ 2,270

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**営業収益**／本年2月の羽田空港第2旅客ターミナルビル5スポット供用開始に伴う施設利用料収入等の増加や成田国際空港における他社免税店への卸売上の増加等により、当中間期の営業収益は、前年同期比5.2%増となりました。

**営業利益**／営業収益が前年同期比5.2%増と推移する中、販売費及び一般管理費は、前年同期比1.7%増と適切なコスト管理を図ることができ、当中間期の営業利益は、前年同期比15.2%増となりました。

(単位 百万円)

## ■ 中間連結株主資本等変動計算書

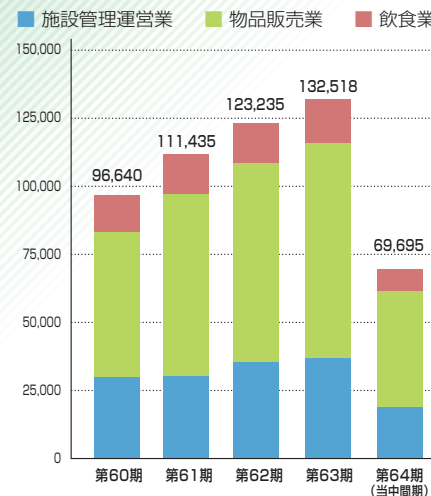
	当中間期(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)					株主資本			評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計				
平成19年3月31日残高	17,489	21,309	74,887	△ 77	113,609	2,609	△ 34	2,575	3,198	119,382		
中間連結会計期間中の変動額			△ 502		△ 502					△ 502		
剰余金の配当												
中間純利益			2,185		2,185					2,185		
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1		
自己株式の処分		0		0	0					0		
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)						△ 370	12	△ 358	△ 88	△ 447		
中間連結会計期間中の変動額合計	-	0	1,683	△ 1	1,682	△ 370	12	△ 358	△ 88	1,234		
平成19年9月30日残高	17,489	21,309	76,570	△ 78	115,291	2,238	△ 22	2,216	3,109	120,617		

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

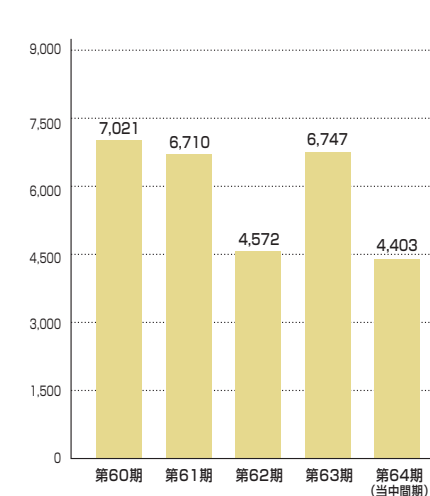


# 連結財務ハイライト

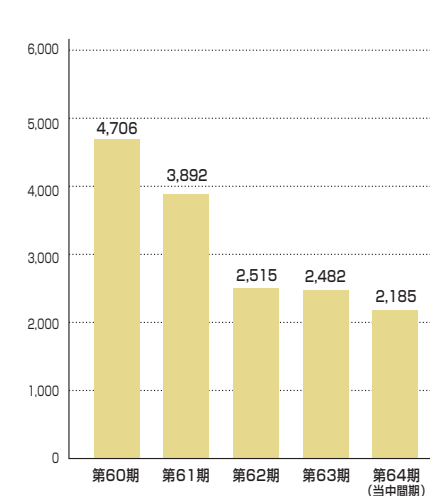
## 営業収益 (単位 百万円)



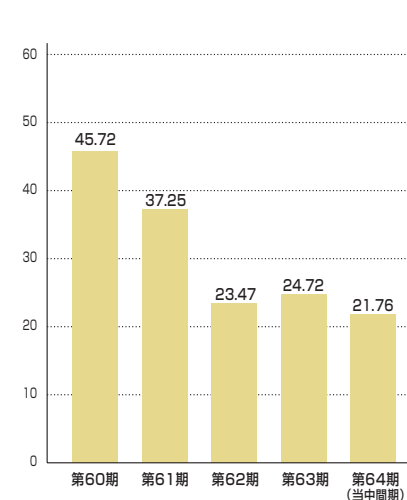
## 経常利益 (単位 百万円)



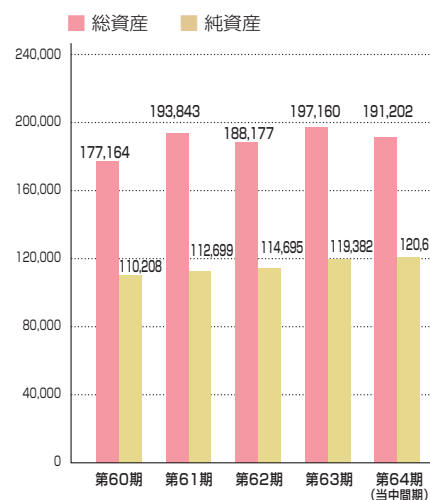
## 中間(当期) 純利益 (単位 百万円)



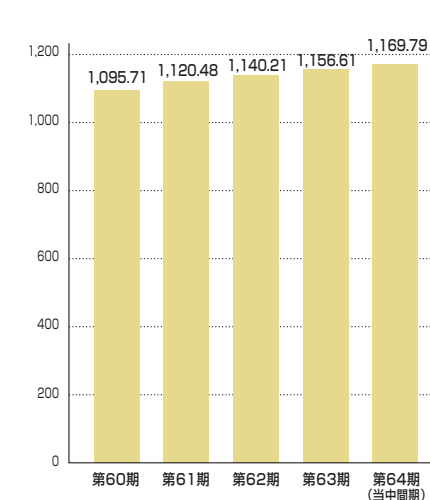
## 1株当たり中間(当期) 純利益 (単位 円)



## 総資産／純資産 (単位 百万円)



## 1株当たり純資産 (単位 円)



# 単体財務諸表

(単位 百万円)

### 中間貸借対照表(要旨)

	当中間期 平成19年9月30日現在	前期 平成19年3月31日現在	増 減
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	17,723	22,362	△4,639
固定資産	154,397	155,612	△1,215
有形固定資産	130,908	133,324	△2,416
無形固定資産	612	634	△ 22
投資その他の資産	22,876	21,652	1,224
資産合計	172,120	177,975	△5,854
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	25,218	27,453	△2,235
固定負債	41,069	45,831	△4,762
負債合計	66,287	73,285	△6,998
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	103,734	102,236	1,497
資本金	17,489	17,489	-
資本剰余金	21,310	21,309	0
利益剰余金	65,013	63,514	1,498
自己株式	△ 78	△ 77	△ 1
評価・換算差額等	2,098	2,452	△ 353
純資産合計	105,832	104,689	1,143
負債純資産合計	172,120	177,975	△5,854

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位 百万円)

### 中間損益計算書(要旨)

	当中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	前中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	増 減
営業収益	55,955	52,784	3,170
売上原価	27,988	25,785	2,202
営業総利益	27,966	26,998	968
販売費及び一般管理費	24,671	24,180	490
営業利益	3,295	2,818	477
営業外収益	905	767	137
営業外費用	619	577	41
経常利益	3,581	3,008	573
特別利益	109	-	109
特別損失	-	281	△ 281
税引前中間純利益	3,691	2,727	964
法人税、住民税及び事業税	1,770	1,630	140
法人税等調整額	△ 80	△ 478	398
中間純利益	2,001	1,575	426

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 中間株主資本等変動計算書

当中間期(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

	株主資本										評価・換算差額等			純資産 合計			
	資本金	資本剰余金				利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益		評価・換算 差額等 合計		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金			利益 剰余金 合計								
						配当準備 準備金	羽田東側施設 建設積立金	別途 積立金								繰越利益 剰余金	
平成19年3月31日残高	17,489	21,309	0	21,309	1,716	4,560	5,000	48,700	3,537	63,514	△ 77	102,236	2,486	△ 34	2,452	104,689	
中間会計期間中の変動額																	
剰余金の配当									△ 502	△ 502		△ 502					△ 502
羽田東側施設建設積立金の取崩							△ 5,000		5,000	-		-					-
別途積立金の積立								7,000	△ 7,000	-		-					-
中間純利益									2,001	2,001		2,001					2,001
自己株式の取得											△ 1	△ 1					△ 1
自己株式の処分			0	0							0	0					0
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)													△ 365	12	△ 353	△ 353	△ 353
中間会計期間中の変動額合計	-	-	0	0	-	-	△ 5,000	7,000	△ 501	1,498	△ 1	1,497	△ 365	12	△ 353	1,143	
平成19年9月30日残高	17,489	21,309	0	21,310	1,716	4,560	-	55,700	3,036	65,013	△ 78	103,734	2,121	△ 22	2,098	105,832	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

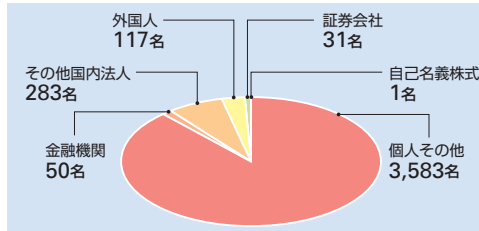
# 株式情報 (平成19年9月30日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	288,000,000株
発行済株式の総数	100,540,000株
株主数	4,065名

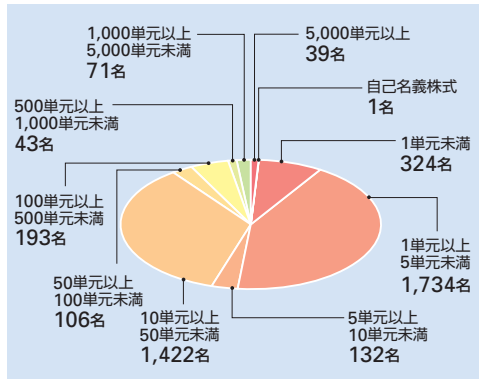
## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
マコーリー バンク リミテッド クライアント カストディ アカウント	12,890	12.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,504	6.46
株式会社日本航空インターナショナル	4,398	4.37
全日本空輸株式会社	4,398	4.37
株式会社みずほコーポレート銀行	3,835	3.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	3.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,408	3.38
三菱地所株式会社	3,111	3.09
大成建設株式会社	2,731	2.71
ジェーピー モルガン チェース バンク	2,692	2.67

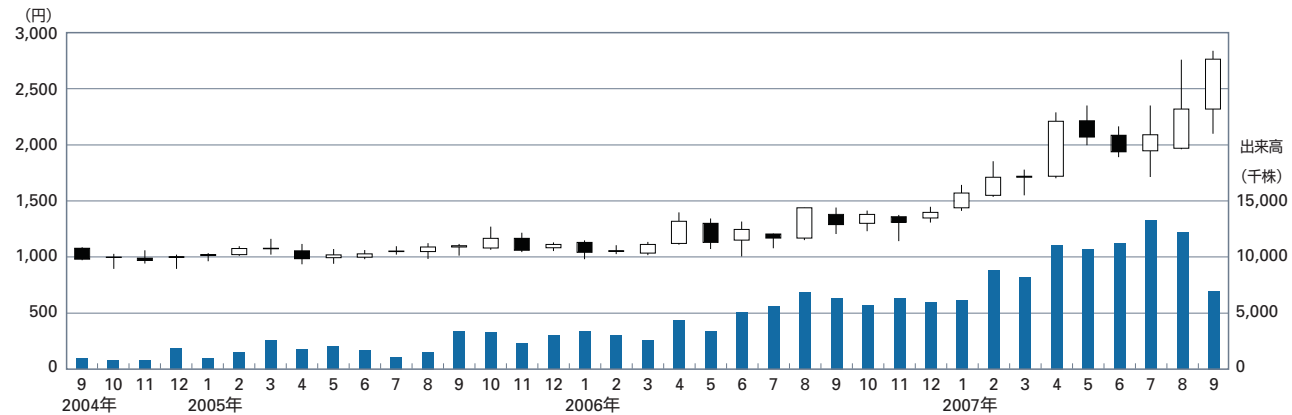
## 所有者別株主数分布



## 所有数別株主数分布 (単元株式数=100株)



## 株価チャート



# 会社概要 (平成19年9月30日現在)

## 会社概要

商号	日本空港ビルデング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	昭和28年(1953年)7月20日
資本金	174億8,920万円(東証一部上場)
事業内容	(1)東京国際空港(羽田)旅客ターミナルビルの運営、管理 ①航空旅客ターミナル施設、見学送迎施設等の建設、管理 ②航空運送事業者及び空港構内営業者に対する事務室、店舗、作業場等の賃貸 (2)物品販売業務 ①東京国際空港(羽田)旅客ターミナルビルにおける物品販売業務 ②成田国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務 ③関西国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務 (3)その他のサービス業務 ①東京国際空港(羽田)利用者に対する案内業務、駐車場、旅行傷害保険代理業、ホテルあっせん等のサービスの提供 ②成田国際空港利用者に対する旅行傷害保険代理業、ホテルあっせん等のサービスの提供

## 役員

代表取締役社長	鷹城 勲	取締役	高木丈太郎
代表取締役副社長	土井 勝二	取締役	根本 二郎
専務取締役	石黒 正吉	取締役	小谷 昌
専務取締役	櫻井 正志	取締役	戸矢 博道
専務取締役	山本 兵一	取締役	西塚 英和
常務取締役	安藤 隆	取締役	霜田 明彦
常務取締役	鈴木 満	取締役	斎藤 光博
常務取締役	木村耕三郎	常勤監査役	真貝 和夫
常務取締役	横田 信秋	常勤監査役	藤波 皖之
取締役相談役	門脇 邦彦	監査役	赤井 文彌
取締役	岩松 孝昭	監査役	樋口 公啓
取締役	岡本 保弘	監査役	寺澤 則忠

## 本社及び営業所等

本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(東京国際空港内)
東京事務所	東京都千代田区大手町二丁目6番2号 日本ビル10階
羽田営業所	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(東京国際空港内)
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地(成田国際空港内)
大阪営業所	大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地(関西国際空港内)
中部営業所	愛知県常滑市栄町一丁目124番地

## 事業概要

東京国際空港(羽田)	成田国際空港	関西国際空港
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物の所有・管理運営</li> <li>● 物品販売</li> <li>● 不動産賃貸</li> <li>● 旅客サービス</li> </ul> <p>第1旅客ターミナルビル</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物の所有・管理運営</li> <li>● 物品販売</li> <li>● 不動産賃貸</li> <li>● 旅客サービス</li> </ul> <p>第2旅客ターミナルビル</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 免税店運営業務受託</li> <li>● 物品販売</li> <li>● 卸売</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物の所有・管理運営</li> <li>● 物品販売(免税店ほか)</li> <li>● 不動産賃貸</li> <li>● 旅客サービス</li> </ul> <p>国際線旅客ターミナルビル</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 駐車場の管理運営</li> <li>● P1立体駐車場</li> <li>● P4平面駐車場</li> <li>● P5平面駐車場</li> </ul> <p>駐車場</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 卸売</li> </ul>